

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	大学院インターンシップ		
英文授業科目名	Advanced Internship		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	専攻主任		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
honda@se.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>この科目は大学が企業等の協力を得て次のような目的と意義で行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識と実際の技術の関連について体得します。 2. 生産，技術，流通などの実際に関心と興味を深めます。 3. 人的協力の必要性と、職業人としての自立の在り方を涵養します。 4. 将来の職業人としての心構えと抱負を養います。 5. 実習を体験して大学院教育の意義を一層理解し、卒業後の進路の指針にします。

【前もって履修しておくべき科目】
特にありません。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
この期まで着実に単位を取得していることです。

【教科書等】
実習先企業の指示に従います。

【授業内容とその進め方】

インターンシップの履修要項

- (1)原則として1年次の夏期休業中に行います。
- (2)期間は、4週間、90時間以上とします。ただし、日数は短縮することがあります。
- (3)予め、「インターンシップ願」を提出して許可を受けなければなりません。
- (4)インターンシップ期間中は、実習先の諸規定および監督者等の指示に従わねばなりません。
- (5)インターンシップ終了後、「インターンシップ報告書」を速やかに、提出する必要があります。

インターンシップの条件

- (1)実習先は日程、通勤、スキルに対する実習先の希望、教育的効果を考慮して教官が決定します。公募によるものも可とします。
- (2)インターンシップ中の事故・災害発生時の障害保障は、「学生教育研究災害障害保険」に基づいて行われます。入学時に加入していない学生は保障されません。（自分が加入しているかどうか不安な学生は、学生課?番窓口保険寮務担当に確認すること。またインターンシップ・介護等体験活動・ボランティア活動賠償責任保険は、共同研究センターでまとめて加入します）。

【成績評価方法および評価基準】

実習先からの「インターンシップ修了書」（実習先責任者による報告，出席状況を含む）と「インターンシップ報告書」（A4用紙数枚にまとめたレポート）によって，前項で説明したインターンシップの目的に対する達成目標を総合的に評価します。総合点60%以上を合格とします。
平成16年度後学期に2単位を付与します。

【オフィスアワー：授業相談】

honda@se.uec.ac.jpおよびintern@crc.uec.ac.jp
にメールしてください。

【学生へのメッセージ】

インターンシップの機会は大変貴重なもので，その目的と意義を十分認識した上で積極的に取り組んでください。

なお，企業への応募や実施に当たっては，共同研究センターの担当者の指示に従ってください。

共同研究センターの担当者：中野 喬 客員教授， 小峯名保美(事務)

場所：共同研究センター 2 階 2 0 1

Tel:0424-43-5723, E-Mail:intern@crc.uec.ac.jp